

オオサンショウウオの各生態等

(参考資料2)

2) 生活環

調査時期的には孵化直後の幼生の確認の可能性も考えられる。

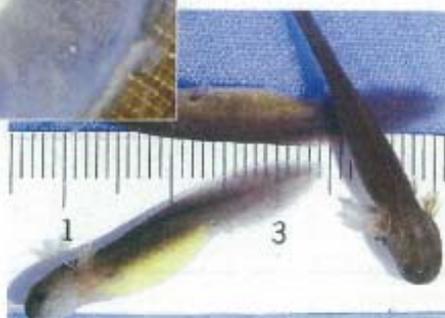
年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1									産卵	ふ化	幼生		
2				越冬幼生									
3				越冬幼生									
4				越冬幼生			変態				亜成体		

3) オオサンショウウオの各形態

調査時期的に幼生等の確認の可能性もあるため、各形態について以下に整理した。



▲産卵後20日目、胚が横に倒れ、頭や尾ができてくる (1980.9)



▲50日ほどでふ化、ふ化直後の幼生 全長3.2cm、体重0.12g (1977.10)



▲ふ化後5か月の幼生(全長5.5cm、体重1.52g)、この時期、他の小型サンショウウオとよく間違われる (1995.3)

ふ化後1年の幼生を群れて飼育
全長11.92cm、体重11.2g (1994.11) ▼



オオサンショウウオの幼生

オオサンショウウオの各生態等

(参考資料2)



◀
上から順に
ふ化後
2か月
1歳2か月
2歳2か月
3歳2か月
4歳2か月
(1984.12)

オオサンショウウオ (幼生及び亜成体)



▲茶褐色、黒褐色の不規則な斑紋がある 全長約80㎝ (1981.10.30 広島市 太田川)

オオサンショウウオ (成熟個体)

出典：「広島県の両生・爬虫類」(比婆科学教育振興会編)